

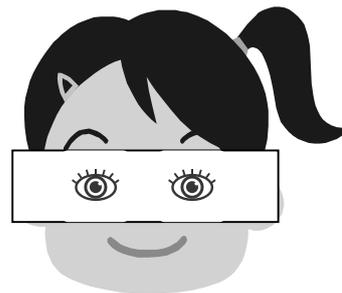
第1課 黄金りつ

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

目の自画像【工作】

●材料

- ・ 18×5cm 程度の紙（B5 サイズの5分の1）
- ・ 黒のサインペン
- ・ 鏡



- ① 紙に目の部分だけの自画像を描きます。
- ② 顔にあてて、お互いの顔を見ます。（笑えますよ！）
瞳の部分に穴を開ければ、自分の顔も鏡で見ることができます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「目にゴミが入ったことがありますか。どんな感じがしましたか。」
- ・ 「暗唱聖句のマタイ 7：3～5 を読みましょう。これはどういう意味だと思いますか。」
- ・ 「暗唱聖句のマタイ 7：12 を読みましょう。
今日のお話は、周りの人にどのように接したらよいかについてです。」

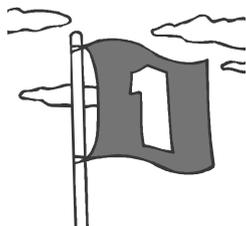
メッセージを一緒に言いましょう

私が、人からしてほしいと思うことを
ほかの人にしてあげられるよう、イエスさまは助けてくださいます

第2課 先の者が後になる

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

整列！【ゲーム】



- ① 子どもたち全員を、教室内のできるだけ離れた場所に散らばらせます。
- ② 先生が教室内の目印となるものの名前を言うと、できるだけ急いでその前に行き、早く着いた順に縦一列に並ぶように言います。
例) 先生が「ピアノ！」と言えば、子どもたちはピアノの前に一列に並びます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「一番になるとうれいひですか。」
- ・ 「列の一番後ろになるのはどんな気分でしたか。」
- ・ 「自分以外の人が一番になっても喜んであげる気持ちは、自然に出てきますか。」
- ・ 「自分より先に他の人のことを考えるのが、簡単にはいかないのはなぜでしょうか。」
- ・ 「マルコ 10：43、44 を探して読みましょう。」

メッセージを一緒に言ひましよう

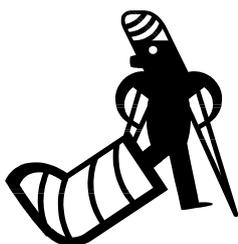
私がほかの人のことを自分のことより先に考えることを、

イエスさまは望んでおられます

第3課 病人を救った友だち

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

動かない足【ゲーム】



●材料

- ・ひも（はちまき程度の太さのものがよい）
- ・カラーテープ（スタートとゴールのラインに貼っておく）

- ① 子どもたちを床に座らせ、両足をヒモでしばります。
- ② スタートラインからゴールまで、足を使わずに行くように言います。
- ③ 時間があれば二人三脚をしてもいいでしょう。

●話し合いをしましょう

- ・「脚が使えないのはどんな気持ちでしたか。」
- ・「今日のお話には、重い病気で歩けなくなってしまった男の人が出てきます。自分ではイエスさまのところに行けない人をイエスさまのところ連れて行く、というお話です。」
- ・「暗唱聖句のローマ 12：10 を探して読みましょう。」
- ・「誰かをイエスさまの所に連れて来るのも、兄弟愛を示していることになります。」

メッセージを一緒に言いましょう

私は、イエスさまの所に人々を連れていきたいと思います

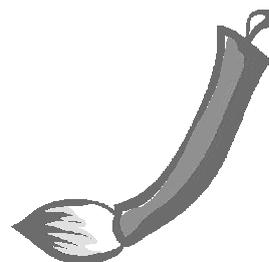
第4課 見ることは信じること

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

目隠しお習字【ゲーム】

●材料

- ・目かくし用の布
- ・紙とペン



- ① ふたり一組になり、片方の子どもが目隠しをします。
- ② 目隠しをしていない子どもは目隠しをした子どもの手にペンをにぎらせ、手を添えたまま黙って、紙に動物の名前をひらがなで書きます。（例：うさぎ、しろくま）
- ③ 1分たったらやめます。1分以内なら何度書いてもかまいません。
- ④ 「目の見えない」パートナーは、何の動物か当てられるでしょうか？
- ⑤ 役割を交替して、もう一度やります。

●話し合いをしましょう

- ・「目隠しをして書いたものを当てるのは難しかったですか。」
- ・「目の見えない人を手伝うのはどんな感じでしたか。」
- ・「今日の聖書のお話には、イエスさまに助けられた目の見えない人が出てきます。ヨハネ9：25 を一緒に探して読みましょう。」
- ・「目が見えるようになった人がイエスさまのことをみんなに話したのは、なぜだと思いますか。」

メッセージを一緒に言いましょう

私は、イエスさまがわたしにしてくださったことを人々に話します

第5課 迷子の発見

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

羊探し【ゲーム】

●材料

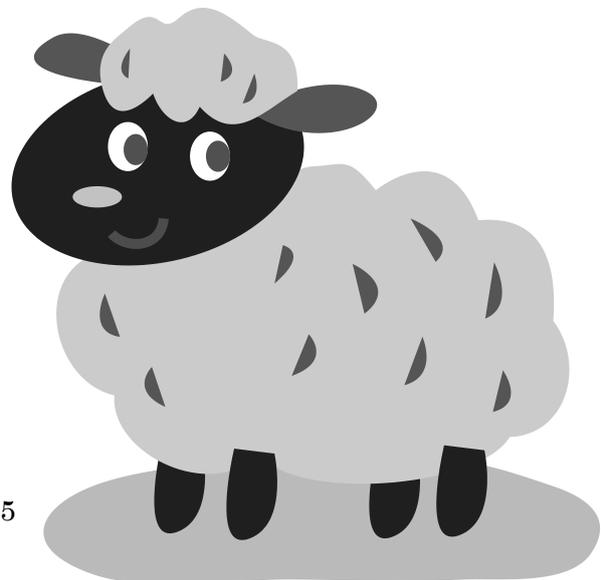
- ・ 羊の切り抜き（下の絵を参照）・ ・ 全員が最低1匹は見つけられる数
- ① 羊の切り抜きを、子どもたちが来る前に教室の中に隠しておきます。
 - ② 子どもたちに羊を見つけさせます。一匹見つけたらイスに座ります。
 - ③ 全員が1匹ずつ見つけて、まだ隠れている羊がいる場合は、もういちどみんなで探してもよいでしょう。

●話し合いをしましょう

- ・ 「迷子の羊を見つけるのは簡単でしたか。」
- ・ 「もし本物の羊を飼っていて、それがいなくなったとしたらどうしますか。」
- ・ 「今日の聖書のお話には、いなくなってしまった羊を捜す羊飼いが出てきます。暗唱聖句のマタイ 18：14 を一緒に探して読みましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

私が遠くはなれていても、イエスさまはさがしに来てくださいます



第6課 あまりにも大切なもの

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

コインを探せ！【ゲーム】

●材料

- ・ 「金貨」のかたちのチョコレートを10個
(他のもので代用してもかまいません)
- ・ 新聞紙



- ① 新聞紙をクシャクシャにまるめて、ソフトボールくらいの大きさのものを30個ほど作ります。そのうちの10個は中心に「金貨」を入れておきます。
- ② 床にばらまき、子どもたちに中の金貨を探させます。

☆ 新聞紙の数、中に入れる金貨の数は、子どもの数に合わせて調整してください。

●話し合いをしましょう

- ・ 「最後まで見つけるのをあきらめなかった人は手を挙げてください。」
- ・ 「今までに何かをなくして、捜したけれどもあきらめてしまったことはありますか。」
- ・ 「今日のお話には、なくしたものをがんばって捜した人が出てきます。イエスさまが私たちのことをあきらめずに探してくれるのと同じです。暗唱聖句のルカ 19:10 を読みましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

イエスさまは私を大切に思い、必ずさがしてくださいます

第7課 あらしの中でもだいじょうぶ

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

大嵐！【ゲーム】（フルーツバスケットというゲームと同じルールです）

- ① 子どもの人数より1つ少ない数のイスを、内側に向けて丸く並べます。
- ② オニが真ん中に立ち、「白い靴をはいている人！」など、何人かに共通する言葉を言います。
- ③ 自分がそうだと思ったら、立って他のイスに移ります。オニはその際に、空いたイスに座ります。座るイスがない人がオニになります。
- ④ 「大嵐！」と言われたら、全員が他のイスに移らなければいけません。
☆ とりのイスにうつってはいけない、というルールを付け加えてもいいでしょう。

●話し合いをしましょう

- ・ 「船に乗っていて嵐にあったら、どんなふうだと思いますか。」
- ・ 「ヨハネ 14：27 を探して読みましょう。これはどういう意味だと思いますか。」

メッセージを一緒に言いましょう

私が困っているとき、イエスさまは助けてくださいます



第8課 神さまにお会いする約束の日

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

手さぐりで 分かるかな？【ゲーム】



●材料

- ・ 布袋（4～5人に1つの割合で）
- ・ 中に入れるもの（ホッチキス、けしごむ、キャンディー、ボールなど）

- ① 布袋の中に品物を5、6個入れておきます。
- ② 子どもたちに、中を覗かずに外からさわらせてます。
- ③ 何が入っているのかを紙に書いてもらいます。中の品物を全部あてられるでしょうか。
☆ ひとりずつ当てても、チームで話し合って当てても、どちらでもいいでしょう。

●話し合いをしましょう

- ・ 「今までに、手を使えなくなってしまったことはありますか。」
- ・ 「手が使えなくなったら不便だと思いますか。」
- ・ 「今日の聖書のお話には、手が不自由な男の人が出てきます。イエスさまは安息日にその人に会いました。マタイ 12:8 を探して、イエスさまがなんと言ったか見てみましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

安息日は、神さまの愛をさらに学ぶ日です

第9課 つらい選び

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

本当に苦しいのは？【ゲーム】



●材料

- ・ 小さなコップに入れたジュースを人数分
- ・ 塩（ひとつのジュースにだけ、塩をまぜておく）

- ① 子どもたちを2つのチームに分けます。
- ② 両方のチームの子どもを向かい合わせに並ばせます。
- ③ 「このジュースの中にひとつだけ塩の入ったものがあります。誰がそれを飲んだか当ててください。」と言います。
- ④ 片方のチームの子どもたちに一斉にジュースを飲んでもらいます。
- ⑤ 全員が塩入りのジュースを飲んだふりをして、苦しむ演技をします。
- ⑥ 見ているチームの子どもたちは相談して、塩入りジュースを飲んだ人を当てます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「今日のお話は、イエスさまのしたつらい選択についてです。
ルカ22：42を探して読みましょう。」
- ・ 「私たちの罪の代価を払うのは、イエスさまにとってつらい選択でした。けれどもイエスさまはそうしてくださったのです。」

メッセージを一緒に言いましょう

私を救うことを選んでくださったイエスさまに感謝します

第 10 課 イエスさまをさばく

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

1 分間計測【ゲーム】



●材料

- ・ 時計、またはストップウォッチ（鳴らないようにしておく）
- ① 最初に「10 秒はこの長さです」といって、10 秒を正確にカウントしてみせます。
 - ② 子どもたちに他の子どもが見えないように目を閉じさせます。
 - ③ 「1分たったと思ったら、他の人にわからないように、静かに手をあげてください」と言って「スタート！」でストップウォッチを押します。
 - ④ 子どもたちが次々に手をあげていきます。
きっちり1分で手をあげた子ども、少し早かった子ども、遅かった子どもを発表します。
- ☆ 子どもは1分を計るのに夢中で、静かになります。

●話し合いをしましょう

- ・ 「一分間みんな静かでしたね。静かにしているのは簡単でしたか。」
- ・ 「なぜ黙っている方がよいときがあるのでしょうか。」
- ・ 「今日のお話の中のイエスさまは、長いこと黙っておられました。なぜだと思いますか。」
- ・ 「暗唱聖句のイザヤ53：5を読みましょう。イエスさまは私たちが永遠の命を得るために苦しめられたと書いてあります。」
- ・ 「永遠の命はイエスさまを受け入れることで得られます。」

メッセージを一緒に言いましょう

私のために喜んで苦しんでくださるイエスさまに感謝します

第 11 課 わたしのために

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

十字架をつくる【工作】



●材料

- ・ダンボール、厚紙、新聞紙など
- ・はさみ
- ・のり

- ① 「実際の十字架はどれくらいの大きさでしょう。ここにある材料を使って実物大の十字架を作ってみましょう。」
- ② 子どもたちに大きさを考えさせ、作らせます。兵士たちが十字架の上につけた「ナザレのイエス、ユダヤ人の王」（ヨハネ 19：19）という看板もつくります。
- ③ できあがったら壁に貼るか、天井から吊るします。
- ④ 子どもたちに、両腕を肩より少し高い位置に上げ、ひじをまっすぐにするように言います。
- ⑤ 子どもたちはその体勢で、できるだけ長い間腕を上げておきます。

●話し合いをしましょう

- ・「イエスキリストは、手と足に釘を打ち付けられ、何時間もその体勢でいました。十字架にかかることで、イエスキリストは私たちの救い主になってくださいました。これを聞いてどんな気持ちになりますか。」

メッセージを一緒に言いましょう

私はイエスキリストに、私の救い主になっていただきたいと思います

第12課 イエスさまはよみがえられた

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

イエスさまはどこに？【ゲーム】

●材料

- ・ スタンプ（違う模様のを5個）
- ・ スタンプを押すカード（人数分）
- ・ A 最初のスタンプの隠し場所を書いた紙（人数分）・・・1人ずつ違っていても良い
- ・ B 次のスタンプの隠し場所を書いた紙（5枚）・・・スタンプと一緒に置いておく
- ・ 宝箱（中に賞品のお菓子などを入れておく）



- ① ひとりずつにスタンプを押すカードとAの紙を渡します。
- ② Aに「ピアノのイスの下」と書いてあればそこをさがし、スタンプを見つけたら自分のカードに押します。
- ③ 一緒に置いてある紙に書いてある、次の隠し場所を探し、次々とスタンプを押します。
- ④ スタンプを全部押せたら、先生のところに持って来ます。
- ⑤ 宝箱をあけて、中の賞品をあげます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「今日のお話は、イエスさまの死体が入られたはずのお墓がからっぽになっていたという、とても不思議でおもしろいお話です。」
- ・ 「イエスさまのお体はいったいどこへいったのでしょうか。」

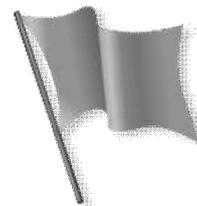
メッセージを一緒に言いましょう

イエスさまがよみがえられたので、
私はイエスさまといっしょにずっと生きることができます

第13課 そしてふたたび地上へ

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

天国の旗【工作】



●材料

- ・ A4サイズの紙
- ・ ペン、色鉛筆、
- ・ スタンプ
- ・ いろ紙
- ・ のり

「王さまや総理大臣が外国に行くとき自分の国の旗で迎えられます。今日のお話はイエスさまが王さまをしている場所についてです。イエスさまの国は、天国です。天国に旗があったとしたら、どんな旗だと思えますか。みんなそれぞれ天国の旗をつくりましょう。」

- ① 好きな材料を使って、天国の旗を作ってもらいます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「旗を作るのは楽しかったですか。どうしてそのようなデザインにしたのですか。」
- ・ 「天国について考えるとき、何を思い浮かべますか。天国に行きたいですか。」

メッセージを一緒に言いましょ

イエスさまがもどって来られるとき、私は
イエスさまにお会いしたいと思います。